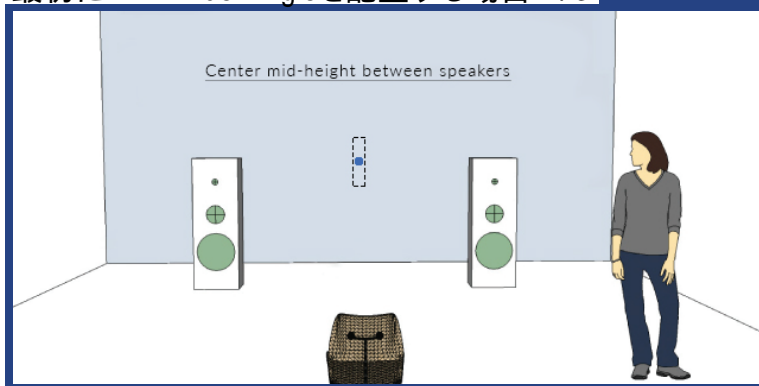


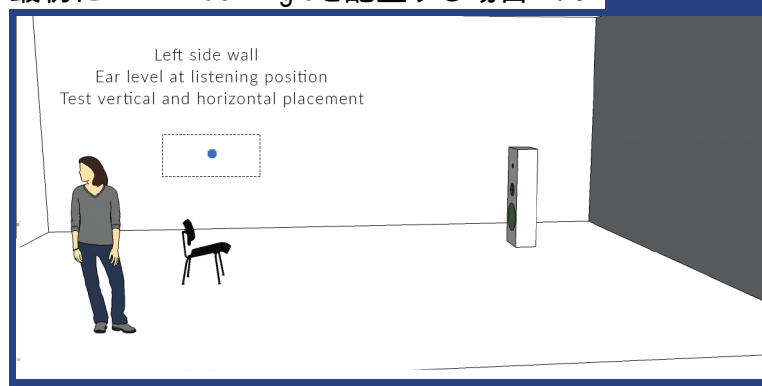
デッドな部屋での配置-高周波数帯域にブライトさやハードさが感じられない場合

最初にHFT Wide Angleを配置する場合 1/3 Level One



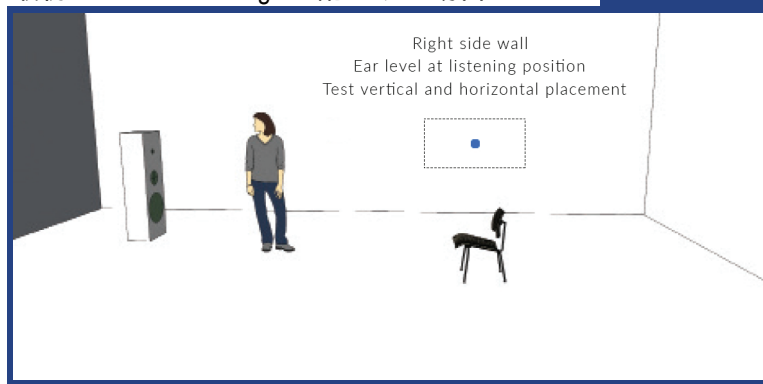
HFT X Wideを前面の壁のスピーカー中央で耳の高さに配置します。
HFT Standardの20,30mmくらい上か下になります。
暖かいサウンドを得たければさらに距離を広げます。
(耳の高さから遠ざかるほど暖かいサウンドになります)

最初にHFT Wide Angleを配置する場合 2/3 Level One



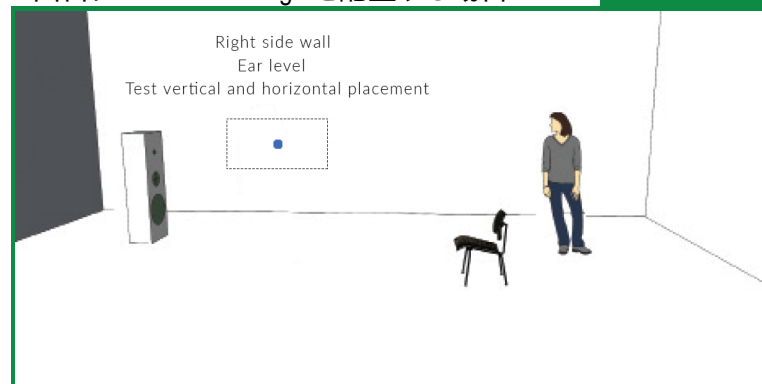
HFT Wideを左面の壁のリスニングポジションの近く耳の高さに配置します。
前後に少し動かして位置を調整してください。
上下に動かしてバランスを取ってください。
(耳の高さから遠ざかるほど暖かいサウンドになります)

最初にHFT Wide Angleを配置する場合 3/3 Level One



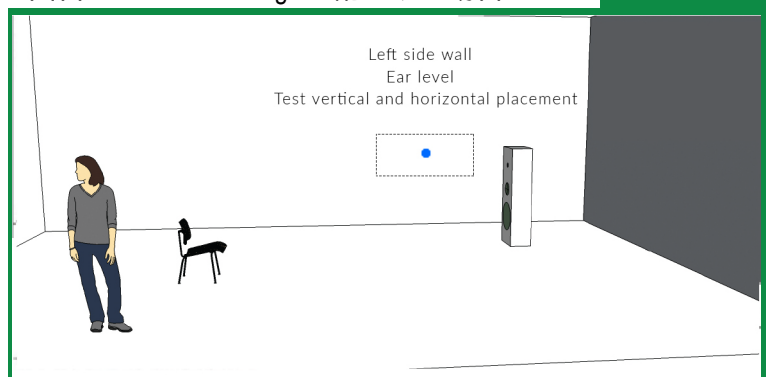
HFT Wideを右面の壁のリスニングポジションの近く耳の高さに配置します。
前後に少し動かして位置を調整してください。
上下に動かしてバランスを取ってください。
(耳の高さから遠ざかるほど暖かいサウンドになります)

2回目にHFT Wide Angleを配置する場合 1/3 Level Two



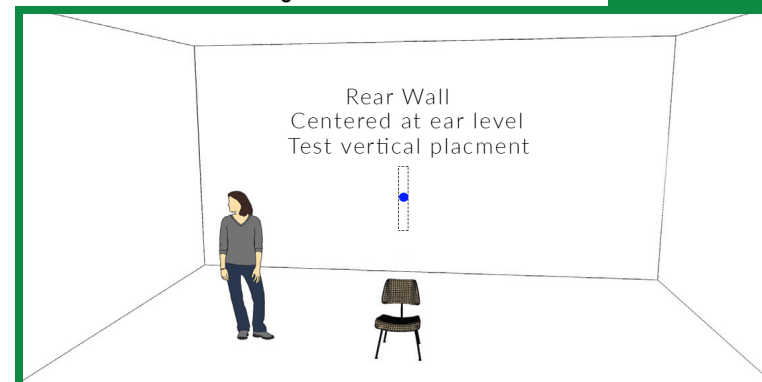
スピーカーが背面の壁から中央に引き出されていたらスピーカーの後ろに、
そうでなければリスニングポジションとスピーカーの間にHFT Wideを右面の壁に配置します。
前後に少し動かして位置を調整してください。
上下に動かして暖かさのバランスを取ってください。

2回目にHFT Wide Angleを配置する場合 2/3 Level Two



スピーカーが背面の壁から中央に引き出されていたらスピーカーの後ろに、
そうでなければリスニングポジションとスピーカーの間にHFT Wideを左面の壁に配置します。
前後に少し動かして位置を調整してください。
上下に動かして暖かさのバランスを取ってください。

2回目にHFT Wide Angleを配置する場合 3/3 Level Two

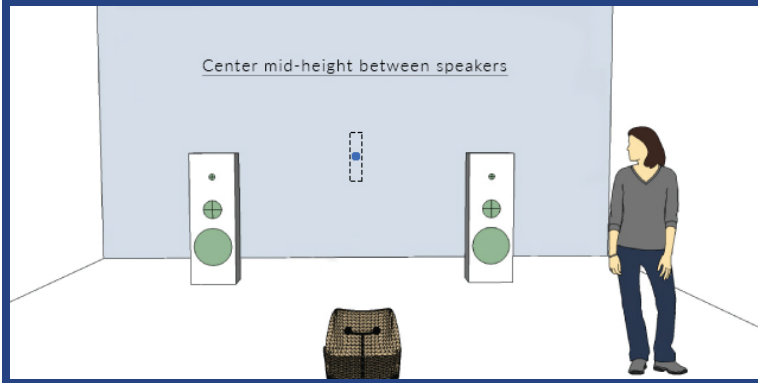


HFT Wideを背面の壁のリスニングポジションの近く耳の高さに配置します。
前後に少し動かして位置を調整してください。
上下に動かしてバランスを取ってください。
(耳の高さから遠ざかるほど暖かいサウンドになります)

適度にデッドな部屋での配置-少しスラップエコーがあるが、
高周波数帯域にブライトさやハードさが感じられない場合

最初にHFT Wide Angleを配置する場合 1/3

Level One

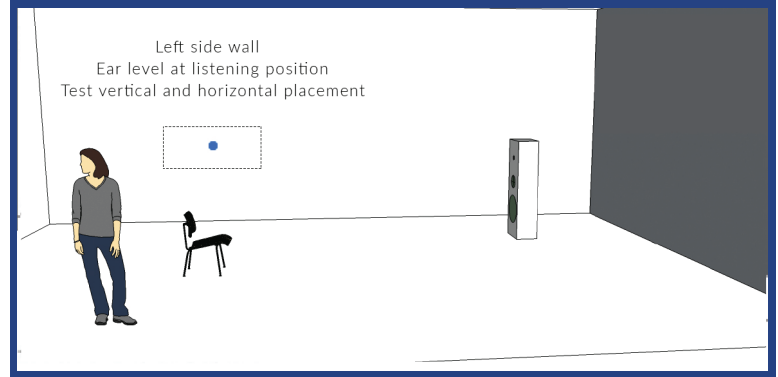


HFT Wideを前面の壁のスピーカー中央で
耳の高さに配置します。

HFT Standardの20,30mmくらい上か下になります。
暖かいサウンドを得たければ さらに距離を広げます。
(耳の高さから遠ざかるほど暖かいサウンドになります)

最初にHFT Wide Angleを配置する場合 2/3

Level One

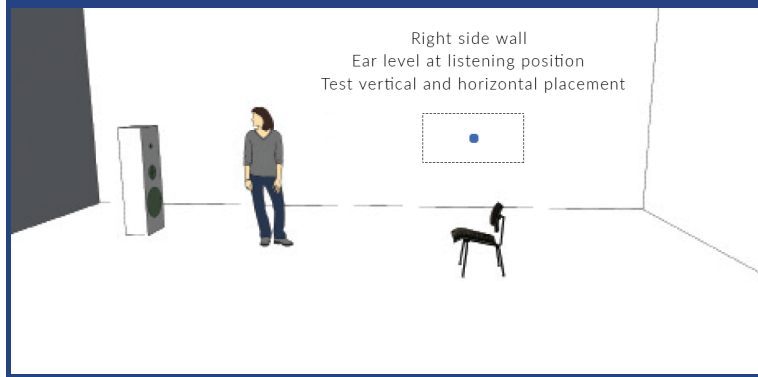


HFT Wideを左面の壁のリスニングポジションの
近く耳の高さに配置します。

前後に少し動かして位置を調整してください。
上下に動かしてバランスを取ってください。
(耳の高さから遠ざかるほど暖かいサウンドになります)

最初にHFT Wide Angleを配置する場合 3/3

Level One

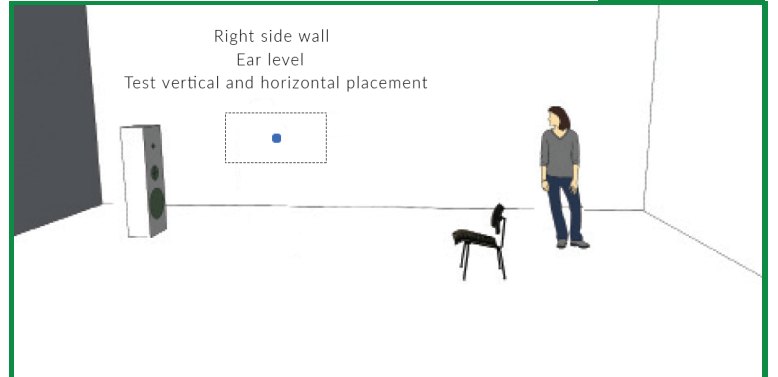


HFT Wideを右面の壁のリスニングポジションの
近く耳の高さに配置します。

前後に少し動かして位置を調整してください。
上下に動かしてバランスを取ってください。
(耳の高さから遠ざかるほど暖かいサウンドになります)

2回目にHFT Wide Angleを配置する場合 1/3

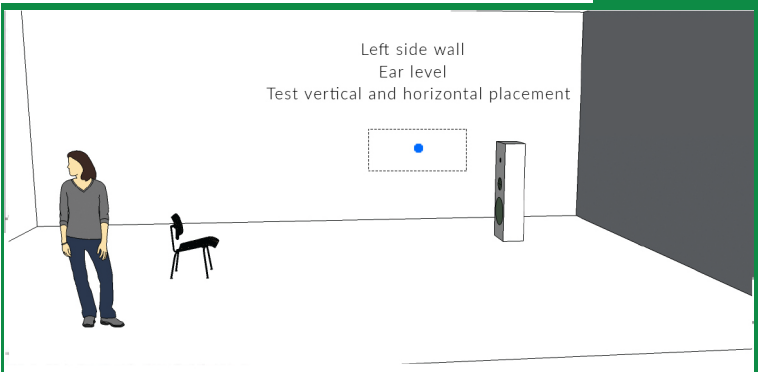
Level Two



スピーカーが背面の壁から中央に引き出されていたら
スピーカーの後ろに、
そうでなければリスニングポジションと
スピーカーの間にHFT Wideを右面の壁に配置します。
前後に少し動かして位置を調整してください。
上下に動かして暖かさのバランスを取ってください。

2回目にHFT Wide Angleを配置する場合 2/3

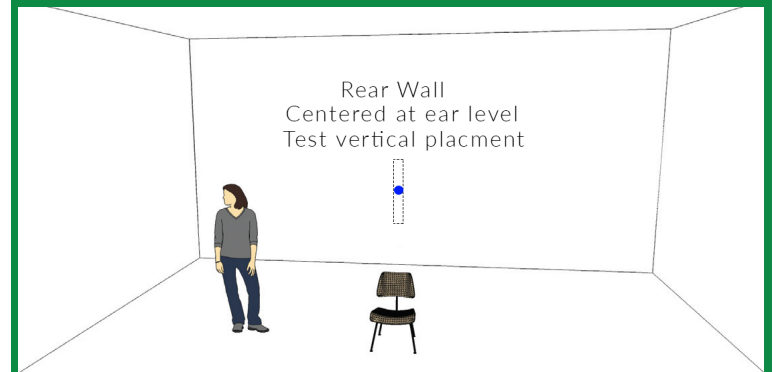
Level Two



スピーカーが背面の壁から中央に引き出されていたら
スピーカーの後ろに、
そうでなければリスニングポジションと
スピーカーの間にHFT Wideを左面の壁に配置します。
前後に少し動かして位置を調整してください。
上下に動かして暖かさのバランスを取ってください。

2回目にHFT Wide Angleを配置する場合 3/3

Level Two

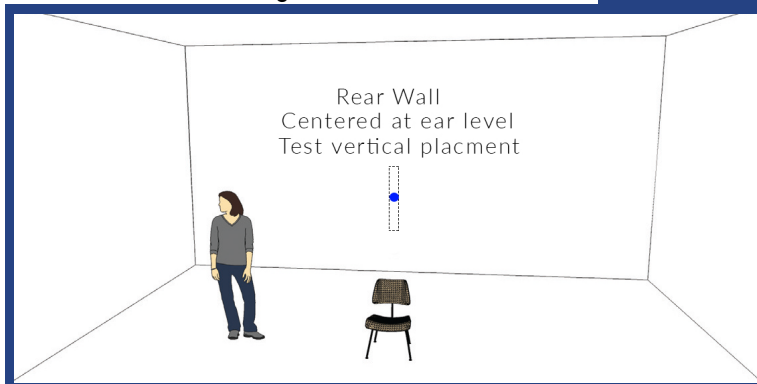


HFT Wideを背面の壁のリスニングポジションの
近く耳の高さに配置します。
前後に少し動かして位置を調整してください。
上下に動かしてバランスを取ってください。
(耳の高さから遠ざかるほど暖かいサウンドになります)

ライブな部屋での配置-ブライトなスラップエコーがある場合

最初にHFT Wide Angleを配置する場合 1/3

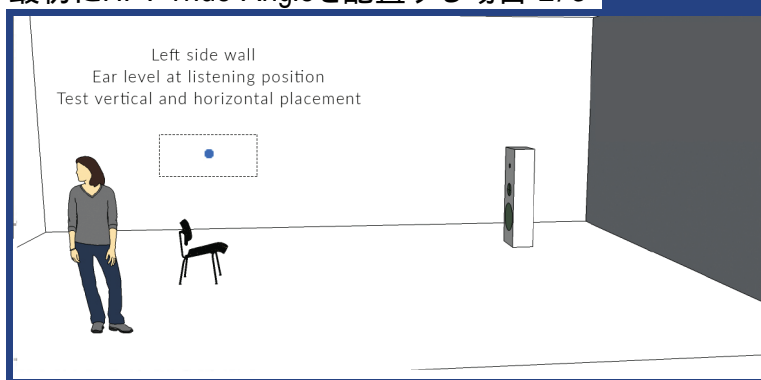
Level One



HFT Wideを背面の壁のリスニングポジションの
近く耳の高さに配置します。
前後に少し動かして位置を調整してください。
上下に動かしてバランスを取ってください。
(耳の高さから遠ざかるほど暖かいサウンドになります)

最初にHFT Wide Angleを配置する場合 2/3

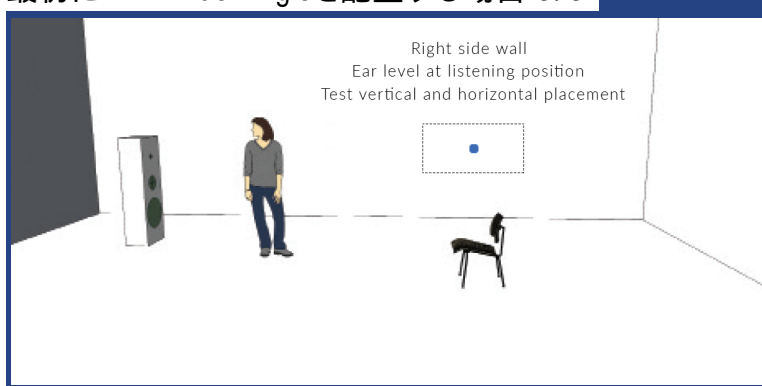
Level One



HFT Wideを左面の壁のリスニングポジションの
近く耳の高さに配置します。
前後に少し動かして位置を調整してください。
上下に動かしてバランスを取ってください。
(耳の高さから遠ざかるほど暖かいサウンドになります)

最初にHFT Wide Angleを配置する場合 3/3

Level One



HFT Wideを右面の壁のリスニングポジションの
近く耳の高さに配置します。
前後に少し動かして位置を調整してください。
上下に動かしてバランスを取ってください。
(耳の高さから遠ざかるほど暖かいサウンドになります)

2回目以降は不要です

For any questions, please contact service3@synergisticresearch.com or visit synergisticresearch.com